

家庭科 2年

少人数での共有スライド作成

高橋 雅子

【活動の目標】

持続可能な社会をつくるの單元の中で各個人が食生活と環境の関りを理解し、環境に配慮した食生活を実践するために IT にて調べた内容を共有し少人数(四人以下)で一つのスライドを作成する。情報源の信頼性や知識の正確性を討議することで理解が深まり各個人の意見を発表する事で知識だけでなく今後の生活でも生かそうとする意識を持つ。

【 問 い 】

学習者が理解を深めるために重要な言葉（食料自給率・フードマイレージ・バーチャルウォーター・フェアトレード・地産地消）を絞り込み、それぞれの引用資料を確認しながらスライドを作成共有フォルダの中で各個人が最も気になる一枚を選び発表を行う

各個人の今後の食生活に向けた意見・感想を述べる事で知識と実践につなげる。（関・知）

・学習内容を深めることに（深い学び）つながる手立て（問いの工夫Ⅱ）

今回 ICT を活用した場面	従来 の活動
B2 個別に教科書や公式ホームページ・公式サイトを調べて各自スライドを作成する。	ワークシートを活用し各個人の知識を深める
B4 班ごとに話し合いスライドの共有を行い情報の信頼性、確実性を確認する	教科書やハンドブックの調べ学習
C1 各個人でスライドの1枚を使い発表	各班で作り上げたスライドを代表が発表を行う

【資料】生徒が作成したレポート

③.フードマイレージ

食品の輸入に伴う環境への影響を数字で表したものの。
食品の重さ×距離で求まる
国別で数値を比較すると、日本は韓国や

【ICT 機器を活用する良さ】

- ICT を利用することで、様々な情報源を照らし合わせ
確実性のある情報、世界情勢に目を向ける事につながる
- 共有することで目視による確認を行い、情報の交換がスムーズになる

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・各個人の発表技術に差があり
⇒原因 個人の苦手意識などで使い方を理解していない
⇒改善案など 機会をみて代表者ではなく一人ずつ自分の意見を述べる機会をつくる